

令和３年度茨城県小中学校長研究協議会（鹿嶋市・中学校部会）報告  
テーマ：感染症対策を踏まえた働き方改革

【協議の概要（要旨）】

ゆとりをもって生徒と向き合う時間をつくるための部活動のあり方や事務処理  
時間確保のための工夫について検討した。

1 効果を上げた具体的取組

（１）部活動の制限

- ・忙しい時期を見通して事務・成績処理期間を設定した。（部活動なし）
- ・平日の部活動を 30 分間、短縮した。
- ・土日に部活動練習終了後、1 時間以内の退勤を学校全体で目指した。

（２）校内テストの工夫

- ・中間テストをなくした。
- ・中間、期末テストを業者テストに切り替えた。

（３）早目の退勤ができる環境づくり

- ・毎週月曜日に定時退勤日を設定した。
- ・先月、超過勤務が多かった教職員に面談や声かけを行った。
- ・留守番電話を設定した。

2 令和４年度以降の取組

（１）新しい生活様式に基づく取組

- ・オンライン授業等による家庭訪問の削減。
- ・学校行事の規模を縮小して継続する習慣化。

（２）通常の生活に戻った後、取り組むべき取組

- ・オンライン研修の制限。（研修後の負荷削減・直行直帰の推進）
- ・働き方改革推進部の活性化を図る。

3 今後の課題と対策

- ・学校解錠施錠時間の安定化。
- ・学校施錠の鍵は所有者を限定する。
- ・部活動による時間外勤務の是正。
- ・市選抜チームの立ち上げと教職員の部活動選択制を推進する。
- ・教職員の部活動指導者の兼業兼務を推進する。